

- 問1 ベトナムに進出する日本企業の数、2010年の約500社から2020年には約2100社へと10年間で4倍以上に急増しています。日本企業が生産拠点としてベトナムを選ぶ主な理由について、現地の社会経済状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
- 15歳未満の年少人口の割合が周辺国の中で最も低く、将来的な労働力不足を見越して自動化を推進する企業が集まっているという点
 - 近隣諸国に比べて月額賃金が非常に高く設定されており、現地の人々の購買力が向上して製品の販売市場として魅力があるという点。
 - 韓国などの近隣諸国に比べて月額賃金が安く、かつ15歳から49歳の人口割合が高いため、豊富な労働力を確保しやすいという点。
 - 急速な少子高齢化の影響で若者の労働力は不足しているが、代わりにAIやロボット技術を活用した高度な工場進出が進んでいるという点。
- 問2 ヒンドゥー教の遺跡群であるミーソン聖域などの世界遺産を有し、1953年にフランスから独立した歴史を持つ東南アジアの国について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）
- アンコール・ワットに代表される大規模な仏教遺跡が、観光における最大の中心となっている。
 - フランスから独立した後は一度も南北に分かれることなく、一貫して民主主義体制を維持した。
 - 1960年代のASEAN結成当初からの加盟国であり、日本への最大の輸出品は米である。
 - 1995年にASEANに加盟し、近年は工業化が進んだことで、日本に対する貿易収支が黒字に転じた。
- 問3 アジアの諸国に関する統計資料において、国土面積に対する森林面積の割合が0.5パーセントと極めて低く、年間の一人当たり二酸化炭素排出量が14.27トンと非常に高い数値を示している国があります。この国の特徴として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 愛知県公立入試 類似）
- 中国であり、急速な工業化にともなって森林破壊が深刻化しており、膨大な人口によるエネルギー消費で排出量が世界最大となっている。
 - インドであり、人口増加にともなう耕地拡大により森林が減少しており、石炭を主燃料とした火力発電への依存から排出量が増加している。
 - サウジアラビアであり、国土の大部分が乾燥帯に属するため樹木が育ちににくく、豊富な石油資源の産出と消費によって排出量が多くなっている。
 - インドネシアであり、熱帯雨林の減少が問題となっている一方で、一人当たりの経済水準が急速に向上したことで排出量が急増している。
- 問4 中国の社会経済指標において、広大な農地面積を有しながらも1人あたりの国民総所得（GNI）が急増し、同時に年少人口の割合が低下している背景として、最も適切な理由はどれですか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
- 市場経済の導入による工業化で所得が向上した一方で、長期間の一人っ子政策により出生率が抑制されたため
 - 主要な輸出産業を農業から石油資源の採掘へと切り替え、所得水準の向上と引き換えに教育環境が後退したため
 - 内陸部の農地をすべて工業用地に転換したことで、農村部から都市部へ若年層が完全に流出したため
 - 急激なインフレーションにより国民の購買力が低下し、子供を育てる経済的余裕が社会全体で失われたため
- 問5 西アジアのアラビア半島に位置し、広大な国土に世界有数の油田を保有している国があります。この国は日本のエネルギー政策において極めて重要であり、日本の原油輸入先として最大の割合を占めていますが、その国名を次の中から選びなさい。（2025年 沖縄県公立入試 類似）
- サウジアラビア
 - アラブ首長国連邦
 - ブラジル
 - メキシコ
- 問6 東南アジア諸国連合（ASEAN）の活動内容や特徴について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2021年 福島県公立入試 類似）
- 太平洋を取り囲む日本やアメリカ合衆国など、東南アジア以外の多くの国とも経済協力を行っている。
 - 加盟国すべてが共通の通貨を導入することで、経済的な格差をなくす取り組みを行っている。
 - 域内の農作物を保護するため、域外の国から輸入される農産物に対して一律に高い関税をかけている。
 - 加盟国間での関税を原則として撤廃し、域内の貿易を活発にすることで経済成長を図っている。
- 問7 中国の鉄鉱石に関する統計では、中国は世界最大の産出国の一つである一方で、世界の鉄鉱石輸入量の約6割を占める世界最大の輸入国でもあります。このような状況が生じている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 山形県公立入試 類似）
- 国内の鉄鉱石産出量よりも、急速な工業化に伴う国内の需要の方が大幅に多いため
 - 国内で産出される鉄鉱石はすべて国外へ輸出され、国内に必要な資源を輸入でまかなっているため
 - 国内の鉄鉱石産出量が極めて少なく、自国の需要のほぼすべてを輸入に頼らざるを得ないため
 - 国内の鉄鉱石需要は減少傾向にあるが、資源価格を安定させるために国家が輸入を続けているため
- 問8 アメリカ合衆国のシリコンバレーとインドのベンガルールという2つの都市の間では、情報技術（ICT）関連の研究開発において密接な協力関係が築かれています。インドのベンガルールが開発拠点として選ばれている理由のうち、両地点の経度の違いという地理的な条件を最大限に活用した説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 山口県公立入試 類似）
- インドの労働賃金がアメリカ合衆国に比べて安価であり、開発コストを大幅に削減できること
 - 両地点が地球のほぼ反対側に位置し、約12時間の時差を利用して24時間体制で業務を継続できること
 - 両地点が同じ北半球の中緯度帯に位置しており、季節の変化に伴う需要の変動が一致すること
 - 英語が公用語の一つであるため、アメリカの技術者と円滑に意思疎通ができること
- 問9 世界の諸地域の土地利用について述べた次の文のうち、インドの大きな特徴として正しいものはどれですか。主要な国々の土地利用を比較した統計において、インドは農地面積約1億7960万ヘクタールのうち、その大部分である約1億6936万ヘクタールを特定の用途が占めており、これは他国と比較しても際立って高い割合となっています。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
- 砂漠や氷雪地などの非農耕地
 - 森林としての利用
 - 耕地・樹園地としての利用
 - 牧草地・放牧地としての利用
- 問10 西アジアのアラビア半島の大部分を占め、イスラム教を国教としている国家を次の中から選びなさい。（2018年 愛媛県公立入試 類似）
- トルコ
 - サウジアラビア
 - アラブ首長国連邦
 - イラン
- 問11 地理的な距離の近さや工業製品の生産力の高さを背景として、中国から日本への輸出額は約19兆円に達しています。この状況を説明する背景として、最も適切な内容を選択してください。（2021年 愛知県公立入試 類似）
- 日本の多くの企業が生産拠点を移転し、現地で製造された製品を日本へ逆輸入する仕組みが整っているため。
 - 広大な国土で生産される鉄鉱石などの鉱産資源が、日本の重化学工業を支える主要な原料となっているため。
 - 広大な農地を活用した大規模農業により、小麦やトウモロコシなどの穀物を低価格で大量に日本へ供給しているため。
 - 日本との間に自由貿易協定が締結されたことで、全ての農産物に対する関税が完全に撤廃されたため。
- 問12 紀元前2500年頃、南アジアのインダス川流域で成立した古代文明について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2015年 岡山県公立入試 類似）
- レンガで舗装された道路や排水溝が整備された、計画的な都市構造を持っていた。
 - 黄河の流域で発生し、甲骨文字を用いて占いや政治が行われた。
 - ナイル川の氾濫を予測するために天文学が発達し、太陽暦が作成された。
 - チグリス川とユーフラテス川の間に位置し、楔形文字を用いて記録が行われた。